



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日

上場会社名 北陸電気工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6989 URL <https://www.hdk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下坂 立正
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部財務部長 (氏名) 三輪 浩司 TEL 076-467-1111
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	11,497	13.9	420	△35.2	487	△4.0	175	△32.0
2026年3月期第1四半期	10,094	△4.1	649	1.3	507	△45.3	257	△65.7

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 914百万円 (—%) 2026年3月期第1四半期 △159百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	22.37	—
2026年3月期第1四半期	32.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	47,309	25,986	54.9
2026年3月期	46,177	25,817	55.9

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 25,986百万円 2026年3月期 25,817百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	95.00	95.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		47.50	—	47.50	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	47,000	9.0	1,800	△22.1	1,600	△41.7	1,200	△39.6
								152.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	8,450,099株	2026年3月期	8,450,099株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	605,006株	2026年3月期	604,854株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	7,845,189株	2026年3月期1Q	7,857,249株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、米国では個人消費や設備投資を主体に景況は底堅く推移し、中国では輸出が欧州や東南アジア向けに増加したものの、内需の減速が顕著となりました。

わが国におきましては、個人消費や設備投資が持ち直しの動きを見せたものの、中東情勢や円安による物価上昇を背景に弱含みで推移しました。

そのような環境下、エレクトロニクス市場におきましては、AIの普及に伴い、データセンター向けなどが拡大し、モビリティ向けも搭載量の増加により底堅く推移しましたが、貴金属相場の高止まりにより原材料価格が上昇いたしました。

こうした状況のなかで、当社グループにおきましては、付加価値率の高い新分野への拡販を図る一方、生産効率の改善および顧客との売価交渉に努めました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高11,497百万円（前年同期比+13.9%）、営業利益420百万円（同△35.2%）、経常利益487百万円（同△4.0%）、親会社株主に帰属する四半期純利益175百万円（同△32.0%）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①電子部品

電子部品は、モビリティ向けにモジュール製品が増加したことを主因に、売上高は11,243百万円（前年同期比+13.6%）となりましたが、貴金属相場の高止まりに伴い材料コストが増加し、営業利益は728百万円（同△22.9%）となりました。

②金型・機械設備

金型・機械設備は、金型においてアミューズメント向けが振るわなかったものの、機械設備が増加し、売上高137百万円（同+3.3%）、営業利益20百万円（同△21.6%）となりました。

③その他

その他は、商品仕入及び不動産業等にかかる事業であり、売上高167百万円（前年同期比+37.8%）となり、営業利益20百万円（同+2.9%）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末は、前連結会計年度末に比べ、総資産は、売上債権の増加や株高に伴う投資有価証券の時価評価額増加などから1,132百万円の増加となり、負債は仕入債務の増加を主体に963百万円の増加となりました。

純資産は前連結会計年度末に比べ、168百万円の増加となりました。うち、株主資本は、親会社株主に帰属する四半期純利益により175百万円増加し、剰余金の配当により745百万円減少したことなどから、570百万円の減少となり、その他の包括利益累計額は、その他有価証券評価差額金の増加およびアジア通貨高円安による為替換算調整勘定の増加を主因に738百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては、2026年5月12日の公表から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,079	13,278
受取手形及び売掛金	7,807	8,638
電子記録債権	967	713
商品及び製品	1,448	1,668
仕掛品	4,060	4,329
原材料及び貯蔵品	3,359	3,111
その他	1,972	1,382
貸倒引当金	△31	△24
流動資産合計	32,663	33,096
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,553	2,575
機械装置及び運搬具（純額）	3,674	3,473
土地	2,652	2,653
その他（純額）	496	871
有形固定資産合計	9,376	9,573
無形固定資産	322	299
投資その他の資産		
投資有価証券	2,185	2,921
繰延税金資産	687	463
その他	952	967
貸倒引当金	△11	△12
投資その他の資産合計	3,813	4,339
固定資産合計	13,513	14,213
資産合計	46,177	47,309

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	111	108
買掛金	5,069	5,783
短期借入金	4,111	4,881
未払法人税等	591	336
賞与引当金	474	733
その他	1,438	1,491
流動負債合計	11,796	13,334
固定負債		
長期借入金	4,923	4,338
リース債務	328	332
繰延税金負債	—	0
再評価に係る繰延税金負債	319	319
退職給付に係る負債	2,891	2,899
その他	99	99
固定負債合計	8,563	7,989
負債合計	20,359	21,323
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,200	5,200
資本剰余金	3,961	3,961
利益剰余金	11,003	10,433
自己株式	△861	△861
株主資本合計	19,303	18,733
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	960	1,465
土地再評価差額金	643	643
為替換算調整勘定	4,585	4,828
退職給付に係る調整累計額	323	314
その他の包括利益累計額合計	6,513	7,252
純資産合計	25,817	25,986
負債純資産合計	46,177	47,309

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	10,094	11,497
売上原価	8,004	9,509
売上総利益	2,089	1,988
販売費及び一般管理費	1,439	1,567
営業利益	649	420
営業外収益		
受取利息	27	30
受取配当金	12	24
為替差益	—	36
その他	36	29
営業外収益合計	76	120
営業外費用		
支払利息	20	34
為替差損	179	—
その他	18	19
営業外費用合計	218	54
経常利益	507	487
特別利益		
固定資産売却益	0	1
ゴルフ会員権売却益	—	13
保険解約返戻金	2	1
その他	—	1
特別利益合計	2	16
特別損失		
固定資産除却損	0	1
投資有価証券評価損	1	—
貸倒引当金繰入額	2	—
アドバイザー費用	—	51
保険解約損	1	—
特別損失合計	5	52
税金等調整前四半期純利益	504	451
法人税等	246	276
四半期純利益	257	175
親会社株主に帰属する四半期純利益	257	175

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	257	175
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23	505
為替換算調整勘定	△440	242
退職給付に係る調整額	△0	△9
その他の包括利益合計	△416	738
四半期包括利益	△159	914
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△159	914

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率により計算した税金費用が著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率により計算する方法によっております。また、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	電子部品	金型・ 機械設備	計				
売上高							
一時点で移転される財	9,899	103	10,002	55	10,057	—	10,057
一定の期間にわたり移 転されるサービス	2	—	2	19	21	—	21
顧客との契約から生じ る収益(注4)	9,901	103	10,005	74	10,079	—	10,079
その他の収益(注5)	—	—	—	14	14	—	14
外部顧客への売上高	9,901	103	10,005	89	10,094	—	10,094
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	29	29	32	61	△61	—
計	9,901	133	10,034	121	10,156	△61	10,094
セグメント利益	944	26	970	19	990	△340	649

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品仕入(㈱大泉製作所製品)及び不動産・保険代理業に係る事業であります。

2. セグメント利益の調整額△340百万円には、セグメント間取引消去16百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△356百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. 「顧客との契約から生じる収益」は、企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」の対象となる顧客との契約から生じる収益であります。

5. 「その他の収益」は、顧客との契約から生じる収益のうち、収益認識会計基準等の適用範囲外とされている、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	電子部品	金型・ 機械設備	計				
売上高							
一時点で移転される財	11,240	121	11,362	100	11,462	—	11,462
一定の期間にわたり移 転されるサービス	2	—	2	18	20	—	20
顧客との契約から生じ る収益(注4)	11,243	121	11,364	118	11,483	—	11,483
その他の収益(注5)	—	—	—	14	14	—	14
外部顧客への売上高	11,243	121	11,364	133	11,497	—	11,497
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	16	16	34	50	△50	—
計	11,243	137	11,380	167	11,548	△50	11,497
セグメント利益	728	20	749	20	769	△348	420

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品仕入（柵大泉製作所製品）及び不動産・保険代理業に係る事業であります。

2. セグメント利益の調整額△348百万円には、セグメント間取引消去18百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△367百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. 「顧客との契約から生じる収益」は、企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」の対象となる顧客との契約から生じる収益であります。

5. 「その他の収益」は、顧客との契約から生じる収益のうち、収益認識会計基準等の適用範囲外とされている、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	240百万円	290百万円